

泡瀬・美ら島 便り



内閣府 沖縄総合事務局 / 那覇港湾・空港整備事務所 / 中城湾港出張所

平成21年 3月25日発行

本号は、沖縄県が実施している比屋根湿地整備についての特集です。

ごあいさつ



県民の皆様には、日頃から本県の港湾の振興・発展につきましてご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

本県におきましては、国・沖縄市と協力しながら、中城湾港泡瀬地区埋立事業に取り組んでおり、現在当事務所としては、主に人工海浜について整備を行っているところであります。

当事務所においては、平成17年度から護岸と突堤の海上工事に着手し、平成26年度の竣工に向けて整備を進めており、人工海浜につきましては、平成23年度の一部供用を目指しております。

整備を進めるに当たっては、環境への影響をできるだけ小さくする取り組みを実施しながら進めています。

また、沖縄県総合運動公園北側に隣接する「比屋根湿地」について湿地環境の回復を目的とした事業を実施しています。

「比屋根湿地」については、土砂の流入による陸地化やゴミの不法投棄などにより湿地機能が著しく失われており、生物の生息環境の悪化が深刻化しているため、健全な湿地に再生し生物や泡瀬干潟に対してよりよい影響を与えるよう整備に取り組んでいます。

最後に、この紙面をお借りして、県民の皆様と地域住民の皆様にも今後とも本事業についてなお一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



沖縄県中城湾港
建設事務所長
神田 豪

○比屋根湿地の環境改善

現在の比屋根湿地は、雨水幹線からの土砂などの流入などによる陸地化やゴミの不法投棄などにより、湿地機能が著しく低下しているため環境の悪化が懸念されています。

そこで沖縄県では、比屋根湿地の環境改善のため湿地機能を再生させる整備に取り組んでいます。

次頁に比屋根湿地の整備状況を掲載します。



比屋根湿地位置図

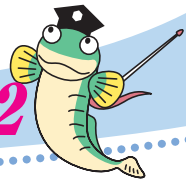


一部陸地化した比屋根湿地



ゴミの不法投棄

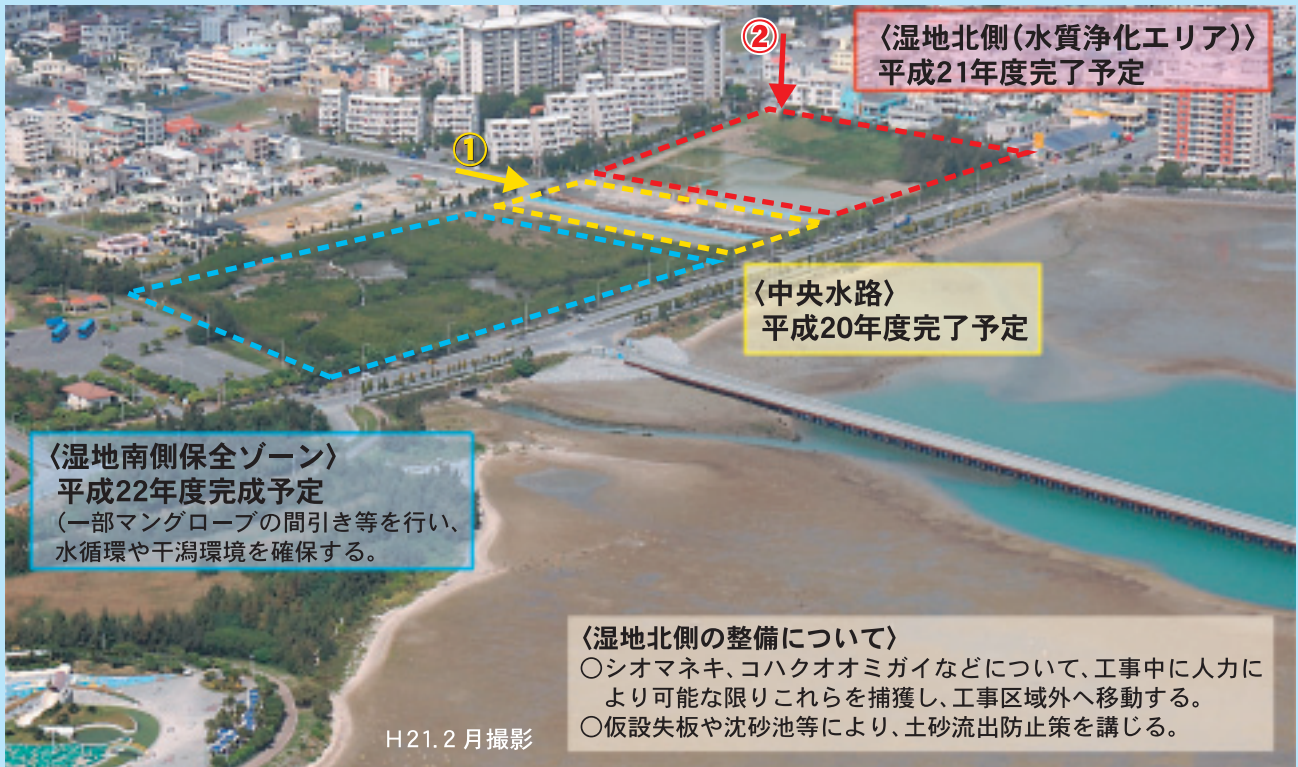
(裏面に続く)



○比屋根湿地の整備状況

整備の概要としましては、まず堆積した土砂やゴミなどを取り除き、雨水幹線から流入する水を浸透濾過するための施設（浄化護岸、レキ河床）を作り、湿地全体の浄化能力を高めます。

また、整備と並行して比屋根湿地へ流入する負荷を低減するため、下水道の普及および接続の向上等についても沖縄市とともに取り組んでいきたいと考えています。



①中央水路側



②水質浄化エリア

